

平成 29 年度「東南アジア青年の船」事業(第 44 回)の概要

内閣府青年国際交流担当室

1. 経緯・目的

「東南アジア青年の船」事業は、昭和 49 年に、日本と ASEAN(東南アジア諸国連合)加盟国との共同事業として発足し、その後、毎年実施され、今回で 44 回目を迎える。この事業には、現在、ASEAN10 か国と日本が参加しており、船内及び訪問国において各種の交流活動を行うことにより、日本及び東南アジア諸国の青年相互の友好と理解の促進、青年の国際的視野の拡大、国際協調精神の醸成及び国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青少年健全育成活動に参加青年が寄与すること等を目的としている。

2. 事業内容

(1) 船上活動

ディスカッション活動、各国紹介、グループ活動など

(2) 訪問国活動

表敬訪問、ホームステイ、施設見学、訪問国青年との交流活動など

3. 参加国

ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国及び日本

4. 構成

(1) 管理官、副管理官、管理部員

(2) 参加者 330 人

(ナショナル・リーダー11人(各国から1人)、日本参加青年39人、外国参加青年280人(各国28人))

5. 日程

- (1) 事前研修(日本参加青年) : 8月6日～11日
- (2) ナショナル・リーダー会議 : 9月19日及び20日
- (3) 出航前研修(日本参加青年) : 10月20日～23日
- (4) 外国参加青年等来日 : 10月23日
- (5) 参集式 : 10月24日
- (6) 日本国内活動 : 10月25日～11月1日
- (7) 運航 : 11月2日～12月12日
- (8) 外国参加青年等帰国 : 12月13日
- (9) 帰国後研修(日本参加青年) : 12月13日及び14日

6. 航路及び寄港地

東京(日本)	11月2日
↓	
シアムークビル(カンボジア)	11月10日～13日
↓	
バンコク(タイ)	11月16日～20日
↓	
ジャカルタ(インドネシア)	11月24日～27日
↓	
ポートクラン(マレーシア)	11月30日～12月3日
↓	
東京(日本)	12月12日

※ タイ寄港中に、代表団が航空機で
ビエンチャン(ラオス)を訪問(11月17日～19日)

